

<営業報告書>

2017年1月期は、売上げは16,465,120円と前期から167万円増加しましたが、資産や資本金に比較して低いレベルにとどまりました。山形県から将来の取締役候補、経営者候補として入社し、ネット通販やオークションの強化に取り組んでもらった職員は本人の都合により、2016年11月に退職しました。

古書籍の販売はネット通販事業の強化で売上げが伸びましたが、倉蔵館の売却にともない倉庫事業用に取得した長浜の空家はお客様を確保できず、売却も賃貸もできないままとなりました。

カメラ付きGPSを購入し、入会地の位置情報や山菜、キノコの位置情報、映像をホームページやfacebook・ヤフーブログなどに随時掲載する事を企画していましたが、期中には実現できませんでした。

当期株式の募集と移動状況について

2017年1月期は1株8万円で50株の自社株式売り出しにより、新しい株主を募集し1名1株の応募がありました。また今期は前期から引き続いての譲渡希望も含め、17名の株主から234.32株、希望譲渡価格1株 21,000円から72,000円で株式譲渡希望がありました。今期は譲渡の成立は21.4株 3名義から2名義への譲渡が成立しました。

期末の株主総数は607名 発行済み株式総数6642株、前年度からの株主総数の減少は1名でした。

入会地の状況

当社は都会のお客様や株主の皆様に ブナ.ナラ.クリ.トチ.ホオなど 落葉広葉樹の雑木林で、山菜採りやキノコ狩り、木の実拾いや散策をして楽しんでもらうという事業目的で営業を続けてきましたが、2017年1月期も原発事故の風評被害などの影響により入会地を利用するお客様は極端に減少したまま回復しませんでした。このため秋のイベントきのこ山は申込が無く中止しました。

期中に東京電力より支払われた立木の賠償金は1ヘクタールあたり5万円、総額5,124,280円の支払受けましたが、その全額を対象となった立木の評価減にあてました。

期中に長浜の共有地約1万坪を取得しました。また代表吉津が個人名義で所有していた農地と長浜入会地に接続する共有地約1万坪を交換で取得し、たもかく株式会社へ入会地として提供し 入会地は更に地続きが増えて使いやすくなっています。

たもかく本の街の状況について

2017年1月期のたもかく本の街の事業は、ネット通販の強化に明け暮れ、設備投資や設備の売却はありませんでした。倉蔵館の周りに犬走りとコンクリート舗装の駐車場を設置する工事を進めました。今年打設作業が進まず、西側と南側北側が完成しましたが東側が残りました。2018年1月期の完成を目指しています。

TVや新聞、雑誌での本と森の交換事業の紹介は期中にはありませんでしたが、3月に東海大学出版会発行の望星2017年4月号特集『やっぱり本屋さんでなくちゃ』の中で2ページの記事で紹介されました。